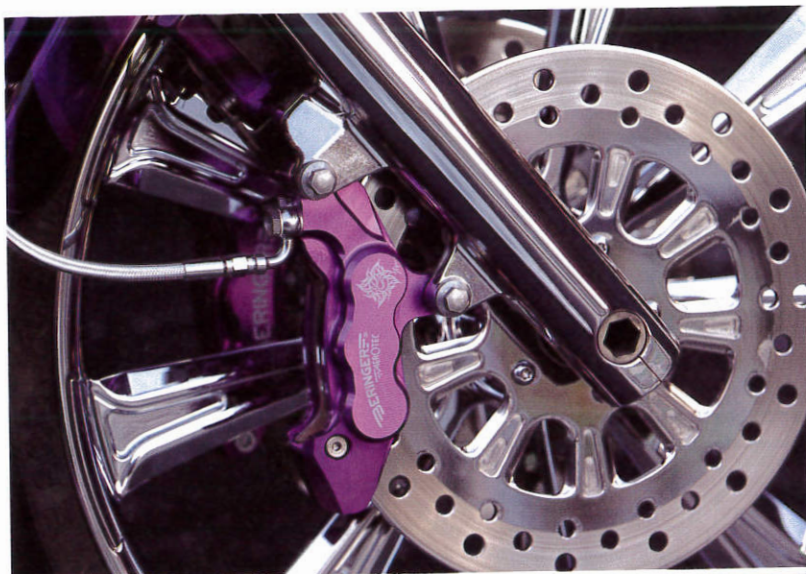


Collaboration between TRIJYA and BERINGER realized!

文=伊藤潤一郎 text by JUNICHIRO ITO 写真=渡辺まこと photographs by MAKOTO WATANABE
取材協力=トライジャ phone 072-9703110 <http://trijya.com/>

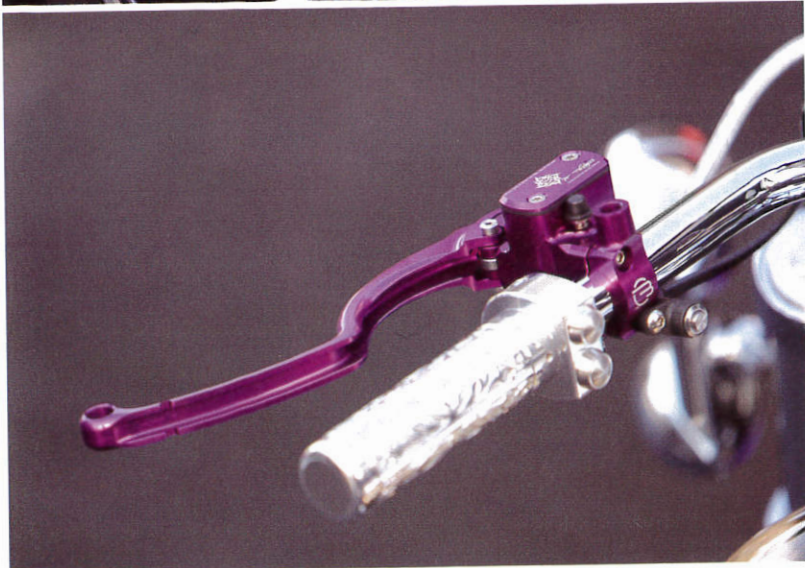


日本のショップとフランスの メーカー、そのコラボが実現!!

ストリートを走るオートバイの足周り、その中でもサスペンションと同様に重要な位置づけにあるのがブレーキシステムだが、それらに関連するキャリパーやマスターを製造するブランドの一つであるフランスの“BERINGER”といえば、過酷な耐久レースで世界を制した技術をフィードバックすることで高い耐久性と制動力を実現するメーカーとして知られた存在である。

そんな同社がこの度、本誌でもお馴染みの大阪のカスタムショップ“トライジャ”とのコラボ製品をリリースすることが正式に決定したのだが、写真からもわかる通り、その内容は基本的な性能や形状はそのままに、側面に2社のロゴが刻が刻まれたもので、合計12色のカラーバリエーションで展開。ちなみにBERINGER社のアルミ削り出しマスターはわずか270gと言う軽さと小振りさゆえ、チョッパーにもベストマッチ。

人とは違う個性を求めらば買い、である。



現在のラインアップは強力なストップピングパワーを実現する6potキャリパー(88,344円)とマスター(クラッチ45,144円/ブレーキ79,056円)がメインで、12色のカラーを展開。その他の要望については問い合わせにてご確認を。



外装は純正部品を元にして、板金加工とペイントのみでその造形と質感を高めている。高いスキル故の優れたアレンジメントだ。

TRIJYA Michael

文=黒川鏡仁 text by TED KUROKAWA 写真=渡辺まこと photographs by MAKOTO WATANABE
取材協力=トライジャ phone 072-970-3110 <http://trijya.com/>

あくまでも純正の外装パーツに板金加工を加え、敢えて市販の外装パーツや、ワンオフのパーツに頼ることなく、ストックベースにこだわり、新たなスタイル、造形を生み出す。そんな実験的にしてクリエイターの意欲を感じるこのカスタムは、大阪のショップ、トライジャにより創られたもの。ベースとなっているのはラバーマウントのXL1200Rだが、その純正の持つスポーツスターらしいフォルムを崩すことなく、独特なディティールを与えたその仕上がりと、独創的な

アレンジメントは素晴らしいものだとと言えるだろう。フューエルタンクとサイドカバーの繋ぎ目に見るそのアレンジは、近年のストレッチタンクを延長させた手法とも思えるが、それと同時に、かつてのトライアンフX-75ハリケーンやトレイシーなどに見られた、タンク・シート一体式の外装キットにも通じた印象すらも感じ受ける。その姿からは、創り手の持つ引き出しの多さと、優れた感性、新しい手法を追求する強い意欲が溢れているのだ。



①純正を活用したフューエルタンク周り。サイドカバーを新設してタンクと繋ぐ手法はストレッチタンクとは逆を行く発想だ。②内容をストックで留めたエンジンには、ポリッシュとダイヤモンドカットを施す。クローム仕上げのHSRに刻美のエアクリーナーを備え効果的にドレスアップしている。③スムーズなラインを描くシート周り。スタイリッシュで品のある仕上がりが。④ホイール周りはPM製で固めるが、キャリアは純正を活用。マフラーはMagna Flow製の2in1を装着。⑤ハンドル周りにはPM製のスイッチに刻美のグリップを備えて固めている。⑥引き込んだエンジンとプライマリー、アレンジの取捨選択が実に絶妙だ。

Pick up!

〈第5回〉 厳選・パーツカタログ[カスタムグリップ]

PARTS CATALOG

チョッパーやカスタムビルドにまつわる様々なパーツに焦点を当てカタログ形式で紹介する……そんなコンセプトを掲げ、スタートした当コーナーだが、第五弾はオートバイを操作する上でも重要な役割を担うグリップに着目し、ご紹介。比較的気軽に換装できつつも、カスタム感を高めるためには必須となるパートゆえ、是非とも参考にして欲しい。

Ken's Factory

■ケンズファクトリー
■phone 052-354-6122 www.kens-factory.com

Neo Fusion series



Spiral

Classic

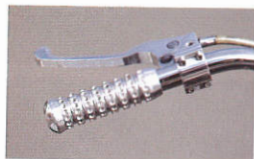
Rubber



Dimpled

Ribbed

Spiral



最新のピレットパーツや手の込んだワンオフパーツを盛り込んだハイエンドなカスタムバイク製作で知られる名古屋のケンズファクトリー。そのオリジナルのグリップは大別するとディンプルで構成されたタイプと、よりデザイン性に意匠を凝らしたNeo Fusionの2種類で、それぞれ3つのプロダクトをリリース中。そのルックスもさることながら、握り心地や操作性にも優れており、チョッパーからバグーまで幅広い層に支持されている製品だ。

MISUMI ENGINEERING

■スミエンジニアリング
■phone 045-961-5339 <http://misumi-eg.net/>

プラス製のドッグボーンライザーやアルミホイールなどをリリースする老舗ショップ、スミエンジニアリングからは、ロングセラーパーツのアルミ/プラス削り出しダイヤモンド型を筆頭に、トルネード型や革巻きタイプ、細かなローレットが施されたレーシーなモデルと様々な種類のグリップをラインナップ。シンプルかつ上品なデザインゆえ、様々なスタイルにハマる万能なプロダクトだ。

Diamond



Tornado



Leather roll



Knurled



TRIJYA

Original grip Type 2

■トライジャ
■phone 072-970-3110 <https://trijya.com/>



TCやV-RODなどのH-Dはもちろん、V-MAX等の国産車をベースにラグジュアリーな雰囲気のマシンを手がけるトライジャでは、オリジナルの“刻美”ブランドとしてリリースされる各種プロダクトと同様のデザインを施したご覧のグリップをリリース中。スロットルケーブルを用いない電子スロットル車用もラインナップされている。

KIJIMA

■キジマ
■phone 03-3897-2167 <http://www.kijima.info/>

幅広いジャンルのカスタムパーツをリリースするキジマは、真鍮とゴムリングを組み合わせたコンビネーションや、特殊製法による継ぎ目の無いローレット状のラバーを配置したメトラシリーズ、細かなローレットで操作性の向上を計ったスリムスリムスポーツ、定番の樽型ゴムグリップなど、豊富なバリエーションでユーザーの要望に対応。ご覧の物の他にも、多様な製品をリリース中だ。

Combination



Metra



Slim Sports



Barrel type



一見地味ながらも、ルックスと操作性の向上には必要不可欠な重要パーツ

これまでにハンドル、シート、マフラー、エアクリナーとカスタムする上で主要のパートとなる箇所のプロダクトを紹介してきた当コーナーだが、今回は車体の中で占める割合こそ少ないものの、マシンの操作性やイメージに大きく関係するグリップに焦点を当て、ご紹介することとした。

チョッパーベースの王道であるH-Dに限らず、国内外の

メーカーでは純正でラバーが使用されることの多いこの箇所だが、アフターマーケットパーツでは同様の素材はもちろん、アルミやプラス削り出しのもの、ピレットとゴムを組み合わせることでルックスにプラスして握り心地を向上させた製品など、そのデザインや形状、材質も多種多様。また、それぞれのメーカーやショップによっても造形が大きく異